

別記2 営農類型

(1) 個別経営体（平坦地）

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
① 水稻 ＋ 麦 ＋ 大豆	<p><作付面積等></p> <p>水稻 ・きぬむすめ 6ha ・つや姫 6ha</p> <p>ビール大麦 ・サチホゴールド 5ha</p> <p>大豆 ・タマホマレ、サチユタカ 5ha</p> <p><経営面積> 水田 17ha</p>	<p><主たる資本装備> [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t車 1台 ・軽トラック 1台 ・育苗ハウス 2棟 ・トラクター(PTT付) 2台 ・代かきハロー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・ライスグレーダー 1台 ・自動播種機 1台 ・側条施肥田植機 6条植 1台 ・動力散布機 1台 ・作溝機 オーガー式 1台 ・施肥播種機 6条 1台 ・乗用管理機 1台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
② 水稻 ＋ 飼料稲	<p><作付面積等></p> <p>水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 6ha ・つや姫 6ha <p>飼料稲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みほひかり 5ha <p><経営面積></p> <p>水田 17ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t 車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 1台 ・代かきハロー 1台 ・育苗ハウス 1棟 ・自動播種機 1台 ・側条施肥田植機 6 条植 1台 ・動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・ライスグレーダー 1台 ・動力噴霧機(背負式) 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
③ 水稲 ＋ 露地野菜 (ブロッコリー)	<p><作付面積等></p> <p>水稲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 7ha ・つや姫 7ha <p>ブロッコリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはよう 2.5ha (秋作) <p><経営面積></p> <p>水田 16.5ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・トラック 1台 ・トラクター (ロータリー付) 1台 <p>代かきハロー 1台</p> <p>[水稲]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植機 6条 1台 ・動力散布機 1台 ・コンバイン 1台 ・作溝機 1台 ・育苗ハウス 1棟 ・ドローン(3経営体共同) 0.3台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・選別計量器 1台 <p>[ブロッコリー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニユアスプレッダー 1台 ・移植機 半自動 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 可搬式 1台 ・高床式運搬車 1台 <p>(水稲の育苗はJAいずもの育苗センターより。乾燥調整はカントリーエレベーターを利用)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稲については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
④ 水稲 ＋ 露地野菜 (たまねぎ、 キャベツ)	<p><作付面積等></p> <p>水稲 ・コシヒカリ 10ha</p> <p>たまねぎ ・ターザン、もみじ 3号 1.5ha</p> <p>キャベツ ・松波、夢舞台 1.5a</p> <p><経営面積> 水田 11.5ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 2棟 ・育苗ハウス 3棟 ・トラクター(ロータリー付) 1台 ・代かきハロー 1台 ・ライムソワー 1台 ・播種機 1台 ・田植機 1台 ・ドローン 1/3台 (3経営体共同利用) ・動力噴霧器 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機、選別計量器 1台 ・トラック 1台 ・中耕ローター 1台 ・施肥播種機 1台 ・マニュアルスプレッダー 1台 ・全自動播種機 1台 ・全自動移植機 1台 ・タマネギ堀取機 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。 ・ドローンによる効率的な病害虫防除を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑤ 施設野菜 (きゅうり、 トマト)	<p><作付面積等> トマト ・桃太郎ネクスト 24a</p> <p>きゅうり ・マリン 24a</p> <p><経営面積> パイプハウス 24a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 ・パイプハウス 6棟 ・灌水ポンプ 2式 ・育苗ハウス 1棟 ・農用井戸 1本 ・トラクター 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台</p> <p><その他> ・土作り等を徹底し高品質生産を図る。 ・作業ピークの解消が図られるような作型調整を行う。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1人</p>

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑥ 施設野菜 (アスパラガス)	<p><作付面積等> アスパラガス ・ガリバー 43a</p> <p><経営面積> 水田 43a</p>	<p><主たる資本装備> [アスパラガス] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 1台 ・ロータリー 1台 ・パイプハウス 2棟 ・灌水施設 1式 ・冷蔵庫 一坪用 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台 <その他> ・水稻については、作業期間 の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を 回避する。</p>	<p>・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。</p> <p>・青色申告を 行う。</p> <p>・自己資本の 充実を図 る。</p> <p>・経営体内部 の役割分担 を図る。</p>	<p>・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。</p> <p>・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。</p> <p>・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。</p> <p>・換気等の作 業環境の改 善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p>

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑦ 施設野菜 (ミニトマト)	<作付面積等> ミニトマト ・サンチェリーピュ ア 32a <経営面積> パイプハウス 32a	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫 1棟 ・パイプハウス 8棟 ・灌水ポンプ 3機 ・農用井戸 1箇所 ・養液栽培システム 1式 ・システム養液装置 1機 ・動力噴霧器 1台 ・培地 1式 ・運搬車 1台 ・ミニトマト選果機 1台 <その他> ・ミニトマトは養液栽培によ る2期作(半促成栽培 +抑 制栽培)を実施	・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。 ・青色申告を 行う。 ・自己資本の 充実を図 る。 ・経営体内部 の役割分担 を図る。	・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。 ・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。 ・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。 ・換気等の作 業環境の改 善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑧ 施設野菜 (葉ねぎ)	<p><作付面積等> 葉ねぎ ・鴨頭 120a</p> <p><経営面積> パイプハウス 48a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 ・パイプハウス 12棟 ・灌水ポンプ 2式 ・農用井戸 1本 ・トラクター 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 1台</p> <p><その他> ・土作り等を徹底し高品質生産を図る。 ・作業ピークの解消が図られるような作型調整を行う。</p>	<p>・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。</p> <p>・青色申告を行う。</p> <p>・自己資本の充実を図る。</p> <p>・経営体内部の役割分担を図る。</p>	<p>・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。</p> <p>・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。</p> <p>・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。</p> <p>・換気等の作業環境の改善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 1人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1人</p>

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑨ 果樹（かき）	<作付規模等> かき（露地） 西条 140a 富有柿 70a <経営面積> 果樹園 210a	<主たる資本装備> [共通] ・作業場兼収納舎 1棟 ・スピードスプレーヤー 1台 ・ハンマーナイフモア 1台 ・軽トラック 1台 ・自走式動力運搬車 1台 ・バークストリッパー 1台 <その他> ・低樹高仕立てを行う。 ・高品質生産を図る。 ・機械利用の効率化が図られるよう樹園地の集団化と基盤整備を行う。 ・無霜地域とし、防霜対策を行う。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 年間雇用者 延べ109人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑩ 施設果樹 (ぶどう)	<p><作付面積等> ぶどう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デラウェア (早期加温) 10a (普通加温) 20a (無加温) 10a <p>・シャインマスカット (加温) 20a</p> <p>(無加温) 10a</p> <p><経営面積> パイプハウス 70a</p>	<p><主たる資本装備> [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス 7棟 ・作業場兼収納舎 1棟 ・養液土耕装置 3台 ・可搬式動力噴霧器 1台 ・自走式運搬車 クロー 1台 ・温風加温機 (ガス) 7台 ・軽トラック 4WD 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の高品質生産や省エネ対策を図る。 ・樹勢を考慮した作型のローテーションを行う。 ・自動開閉装置の導入による省力化及び作型の前進化を図る。 ・産地で実証されているヒートポンプの併用も図る (予定)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 延べ34人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	経営規模
⑪ 施設花き (キク)	<p><作付面積等> キク 54a</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月出し 18a ・8月出し 18a ・年末電照 18a <p><経営面積> パイプハウス 36a</p>	<p><主たる資本装備> [共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 1台 ・パイプハウス 10棟 ・親株用ハウス 1棟 ・電照用装置 10台 ・トラクター 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 ・軽トラック 1台 ・予冷库 1台 ・選花機 1台 ・運搬車 1台 ・加温機 1台 ・土壌消毒機 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作型、品種の組み合わせにより労力配分を図る。 ・地力対策や連作障害対策を実施する。 ・出荷単位を考慮して、1品種3a以上の作付と花色バランスを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 1.4人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	経営規模
⑫ 施設花き (西洋アジサイ、 シクラメン、花壇 用苗物)	<p><作付面積等> シクラメン ・パステル系 F 1 系 18a</p> <p>西洋アジサイ ・県オリジナル品種 他 18a</p> <p>花壇用苗物 ・ナデシコ、サルビ ア、ビンカ、パン ジー 9a</p> <p><経営面積> パイプハウス 27a</p>	<p><主たる資本装備> [共通] ・作業舎兼格納庫 1棟 ・軽トラック 1台 ・パイプハウス 6棟 ・内張装置 6台 ・ベンチー式 C型鋼 6式 ・加温機 6台 ・動力噴霧機 セット動噴 1台 ・用土混合機 (ミキサー) 1台 ・用土詰機 1台 ・液肥混入機 1台 ・フォークリフト 1台 ・出荷用台車 アルミ 4 段 5台 ・真空播種機 1台 ・電熱温床 (育苗マット) 1式</p> <p><その他> ・作型、品種の組み合わせによ り労力配分を図る。 ・出荷単位を考慮して、1 品種 の数量と花色バランスを図 る。</p>	<p>・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。</p> <p>・青色申告を 行う。</p> <p>・自己資本の 充実を図 る。</p> <p>・経営体内部 の役割分担 を図る。</p>	<p>・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。</p> <p>・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。</p> <p>・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。</p> <p>・換気等の作 業環境の改 善を図る。</p>	<p>・主たる従事者 2人</p> <p>・補助従事者 1人</p> <p>・年間雇用者 1.6人</p>

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑬ 露地野菜 (西浜いも、 いも苗)	<p><作付面積等></p> <p>西浜いも 2.0ha</p> <p>いも苗 5a</p> <p><経営面積> 畑地 2.0ha</p> <p>パイプハウス 5a</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[西浜いも]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業場兼収納舎 1棟 ・軽トラック 4WD 1台 ・ロータリー 1台 ・トラクター 1台 ・畝立て機 1台 ・ハーベスター 1台 ・いも苗定植機 1台 ・運搬車 1台 <p>[いも苗]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス 2棟 ・灌水施設 1式 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作型、品種の組み合わせによる労力配分を図る ・地力対策を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑭ 菌床しいたけ	<p><作付面積等> 生しいたけ (菌床・周年栽培)</p> <p>2. 5kgブロック型菌床</p> <p><経営面積> パイプハウス (143㎡× 3 棟) 429 ㎡</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイプハウス (機材込み) 3棟 ・保冷库 3台 ・軽トラック 1台 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑮ 酪農	<飼養頭数等> 乳用牛 フリーストール方式 100頭	<主たる資本装備> [乳用牛] ・乳用牛畜舎 1棟 ・農機具舎 1棟 ・堆肥舎、保管庫 1棟 ・ミルクングパーラー 1式 ・トラック 2tダンプ 1台 ・トラクター4輪駆動 1台 ・トラクター2輪駆動 1台 ・バキュームカー 1台 ・フロントローダー 1台 ・ロールベアラー 1台 ・バルククーラー 1台 ・電気温水器 1台 ・カウマット 200枚 ・TMRミキサー 1台 ・マニユアスプレッダー 1台 ・ブロードキャスター 1台 ・鎮圧ローラー 1台 ・モアコンディショナー 1台 ・テーパーレーキ 1台 ・ベールクリッパ 1台 ・ベールラッパ 1台 ・スプレーヤー 1台 ・乳用牛 100頭 <その他> ・耕畜連携により飼料稲WC S の供給を受ける。 ・牛群検定により高泌乳牛の留 保を図る。	・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。 ・青色申告を 行う。 ・自己資本の 充実を図 る。 ・経営体内部 の役割分担 を図る。	・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。 ・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。 ・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。 ・換気等の作 業環境の改 善を図る。	・主たる従事者 3人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑩ 肉用牛 (肥育)	<飼養頭数等> 肉用牛 ・去勢肥育 200頭	<主たる資本装備> ・畜舎 1棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵庫 1棟 ・農機具舎 1棟 ・飼料庫 ・敷料庫 ・換気扇 ・トラック(2tダンプ) 1台 ・ホイールローダー 1台 ・牛衝器 <その他> ・4頭群飼により飼養管理作業の効率向上を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・年間雇用者 1人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
⑰ 肉用牛 (繁殖肥育一貫)	<飼養頭数等> 肉用牛 ・繁殖牛 200頭 ・肥育牛 350頭	<主たる資本装備> ・繁殖牛舎 2棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵庫 2棟 ・農機具舎 1棟 ・肥育牛舎 2棟 ・飼料庫及び敷料庫 1棟 ・パドック 1式 ・換気扇 2式 ・ほ乳ロボット 1台 ・軽トラック 1台 ・フロントローダー 1台 ・高圧洗浄機 1台 ・繁殖雌牛 200頭 <その他> ・耕畜連携により飼料稲WCSの供給を受ける。 ・ほ乳ロボットにより飼養管理作業の効率向上を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 2人 ・年間雇用者 7人

(2) 組織経営体

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑱ 水稻 ＋ 麦 ＋ 大豆	<p><作付面積等></p> <p>水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 9ha ・つや姫 9ha <p>ビール大麦 ・サチホゴールド 12ha</p> <p>大豆 ・タマホマレ、サチユタカ 12ha</p> <p><経営面積> 水田 30ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 3台 ・自脱型コンバイン 2台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 4台 ・ドローン 1台 <p>[水稻]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗ハウス 2棟 ・自動播種機 1台 ・催芽器(電熱育苗器) 1台 ・代かきハロー 2台 ・ライムソワー 1台 ・側条施肥田植機6条植 2台 ・動力散布機 4台 ・粃摺機 1台 <p>[大麦、大豆]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作溝機 オーガー式 2台 ・施肥播種機 1台 ・乗用管理機 1台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 (大豆乾燥調整は外部委託) ・サブソイラー 2台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 19人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
⑬ 水稻 ＋ 麦 ＋ そば	<p><作付面積等></p> <p>水稻 ・きぬむすめ 7.5ha ・つや姫 7.5ha</p> <p>ビール大麦 ・サチホゴールド 5ha</p> <p>そば ・出雲の舞、信濃1号 5ha</p> <p><経営面積> 水田 20ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 2台 ・ライムソー 1台 ・自脱型コンバイン 2台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 3台 ・ライスグレーダー 1台 ・作溝機 オーガー式 2台 ・ドローン 0.3台 <p>(3組織共同所有)</p> <p>[水稻]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗ハウス 2台 ・代かきハロー 1台 ・自動播種機 1台 ・催芽器(電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機 6条植 2台 ・動力散布機 2台 ・粃摺機 1台 <p>[大麦、そば]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施肥播種機 1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 ・サブソイラー 1台 ・中耕ローター 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 9人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
②⑩ 水稻 ＋ ハト麦	<p><作付面積等></p> <p>水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 8ha ・つや姫 8ha <p>ハトムギ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきしずく 5ha <p><経営面積></p> <p>水田 21ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[共通]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 2台 ・ライムソー 1台 ・自脱型コンバイン 2台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・ライスグレーダー 1台 ・作溝機 オーガー式 2台 ・ドローン 0.3台 <p>(3組織共同所有)</p> <p>[水稻]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育苗ハウス 2台 ・自動播種機 1台 ・催芽器(電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機 6条植 2台 ・代かきハロー 1台 ・動力散布機 2台 ・粃摺機 1台 <p>[ハトムギ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施肥播種機 1台 ・乗用管理機 1台 ・サブソイラー 1台 ・中耕ローター 1台 ・汎用コンバイン 1台 <p>(乾燥調整は外部委託)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 9人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
② ① 水稲 ＋ 麦 ＋ 大豆 ＋ 露地野菜（ブ ロッコリー）	＜作付面積等＞ 水稲 ・きぬむすめ 9ha ・つや姫 9ha ビール大麦 ・サチホゴールド 12ha 大豆 ・タマホマレ、サチ ユタカ 12ha ブロッコリー ・おはよう 3ha （秋作） ＜経営面積＞ 水田 33ha	＜主たる資本装備＞ [共通] ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 2台 ・軽トラック 2台 ・トラクター(ロータリー付) 3台 ・ライムソワー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 4台 ・ドローン 1台 [水稲] ・育苗ハウス 2棟 ・自動播種機 1台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・側条施肥田植機 6 条植 3台 ・代かきハロー 2台 ・動力散布機 1台 ・粃摺機 1台 [大麦、大豆] ・作溝機 オーガー式 1台 ・施肥播種機 1台 ・サブローラー 1台 ・中耕ローター1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 （大豆乾燥調整は外部委託） [ブロッコリー] ・マニュアルスプレッダー 1台 ・移植機 半自動 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 可搬式 1台 ・高床式運搬車 1台 （水稲の育苗はJAいずもの育苗センターより。乾燥調整はカントリーエレベーターを利用） ＜その他＞ ・水稲については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。	・複式簿記の 記帳により 経営と家計 の分離を図 る。 ・青色申告を 行う。 ・自己資本の 充実を図 る。 ・経営体内部 の役割分担 を図る。	・休日制や給 料制を実施 して、労働 環境の充実 を図る。 ・休憩時間の 確保、作業 の安全を確 保する。 ・収穫・出荷 調整等の労 働ピーク時 の雇用労働 力の確保を 図る。 ・換気等の作 業環境の改 善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 19人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
②② 水稲 ＋ 麦 ＋ 大豆 ＋ 露地野菜 (たまねぎ、 キャベツ)	<作付面積等> 水稲 ・きぬむすめ 9ha ・つや姫 9ha ビール大麦 ・サチホゴールド 12ha 大豆 ・タマホマレ、サチユタカ 12ha たまねぎ ・ターザン、もみじ 3号 6ha キャベツ ・松波、夢舞台 6ha <経営面積> 水田 36ha	<主たる資本装備> [共通] ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 2台 ・軽トラック 2台 ・トラクター(ロータリー付) 3台 ・ライムソワー 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 4台 ・ドローン 1台 [水稲] ・育苗ハウス 2棟 ・自動播種機 1台 ・催芽器(電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機6条植 3台 ・代かきハロー 2台 ・動力散布機 1台 ・粃摺機 1台 [大麦、大豆] ・作溝機 オーガー式 1台 ・施肥播種機 1台 ・サブローラー 1台 ・中耕ローター1台 ・乗用管理機 1台 ・背負動力散布機 2台 ・中耕ローター 3連 1台 ・大豆コンバイン 1台 (大豆乾燥調整は外部委託) [たまねぎ、キャベツ] ・中耕ローター 1台 ・施肥播種機 1台 ・マニユアスプレッダー 1台 ・全自動播種機 1台 ・全自動移植機 1台 ・タマネギ堀取機 1台 <その他> ・水稲については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。	・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 19人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
②③ 水稻 ＋ 飼料稲	<p><作付面積等></p> <p>水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 9ha ・つや姫 9ha <p>飼料稲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みほひかり 7ha <p><経営面積></p> <p>水田 25ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 2台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 2台 ・代かきハロー 2台 ・ライムソワー 1台 ・自動播種機 1台 ・催芽器(電熱育苗器) 1台 ・側条施肥田植機 6 条植 2台 ・動力散布機 2台 ・自脱型コンバイン 2台 ・ドローン 0.3台 (3組織共同所有) <p>(水稻の育苗はJAいずもの育苗センターより。乾燥調整はカントリーエレベーターを利用)</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・田畑輪換により連作障害を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 9人 ・年間雇用者 0人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
②④ 水稻 ＋ 肉用牛（繁殖）	<p><作付面積等></p> <p>水稻</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きぬむすめ 9ha ・つや姫 9ha ・牧草 3ha <p>繁殖牛 30頭</p> <p><経営面積> 水田 21ha</p>	<p><主たる資本装備></p> <p>[水稻]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農機具資材庫 2棟 ・育苗ハウス 2棟 ・トラック 1 t 車 2台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 2台 ・代かきハロー 2台 ・ライムソワ 1台 ・自動播種機 1台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・側条施肥田植機 6 条植 2台 ・動力散布機 2台 ・自脱型コンバイン 2台 ・循環型乾燥機 3台 ・ドローン(3経営体共同) 1台 <p>【繁殖牛】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛舎 1棟 ・堆肥舎 1棟 ・堆肥貯蔵施設 1棟 ・飼料庫及び敷料庫 1棟 ・パドック 1台 ・換気扇 1台 ・ほ乳ロボット 1台 ・フロントローダー 1台 ・敷料運搬車 1台 ・高圧洗浄機 1台 ・繁殖雌牛 30頭 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 9人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の 態様等	労働力
㊤ 水稲 + W C S + 作業受託	<作付面積等> 水稲 ・きぬむすめ 15ha ・つや姫 15ha ・W C S 用 13ha 水稲作業受託 10ha	<主たる資本装備> ・農機具資材庫 2棟 ・トラック 1 t 車 2台 ・軽トラック 2台 ・トラクター（ロータリー付） 3台 ・側条施肥田植機 6 条植 4台 ・自脱型コンバイン 3台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 3台 ・ドローン 1台 ・育苗ハウス 3棟 ・自動播種機 2台 ・催芽器（電熱育苗器） 1台 ・代かきハロー 3台 ・ライムソワー 2台 ・粃摺機 1台 ・トラック 2 t 車 1台 ・WCS用収穫機 1台 ・ラッピングマシーン 1台 ・フロントローダー用グラブ 1台 ・フロントローダー 1台 <その他> ・水稲受託作業は田植え、収穫のみ ・W C S は早生品種を作付。収穫後、中生品種の刈取作業を請負う。	・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。	・主たる従事者 2人 ・補助従事者 8人 ・年間雇用者 0.64人

経営類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等	労働力
㊤ 水稻 + 肉用牛 (繁殖) ※水田放牧	<作付面積、飼養頭数等> 水稻 ・きぬむすめ 10ha ・つや姫 10ha 肉用牛 ・水田放牧 40頭	<主たる資本装備> ・農機具資材庫 1棟 ・トラック 1 t 車 1台 ・軽トラック 1台 ・トラクター(ロータリー付) 1台 ・代かきハロー 1台 ・育苗ハウス 1棟 ・自動播種機 1台 ・側条施肥田植機 6 条植 1台 ・動力散布機 1台 ・自脱型コンバイン 1台 ・穀物水分検定機 1台 ・循環型乾燥機 2台 ・粃摺機 1台 ・ライスグレーダー 1台 ・畜舎 1棟 ・牧柵 4800m ・フロントローダー 1台 ・鎮圧ローダー 1台 ・ブロードキャスター 1台 ・ドローン(3経営体共同) 0.3台 <その他> ・水稻については、作期分散により作業期間の拡大を図る。 ・転作品目は水田放牧を取入れ、コストの低減を図る。	・複式簿記の記帳により経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。	・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休憩時間の確保、作業の安全を確保する。 ・収穫・出荷調整等の労働ピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・換気等の作業環境の改善を図る。	・主たる従事者 1人 ・補助従事者 9 人